



水仙の
僅かに咲きて
年くれぬ
正岡子規

春日公民館だより

令和 3年 12月 第29号
発行 (公財)奈良市生涯学習財団春日公民館
Tel・Fax 0742(62)2253
E-mail kasuga@manabunara.jp
開館時間 9:00~17:00
休館日 月曜日・祝日 月曜日が祝日
の場合は翌火曜日

❖ 寒気が日増しに深まるこのごろ、皆様いかがお過ごしでしょうか。早いもので今年もまもなく年の瀬を迎えようとしています。本年も公民館の運営にご理解ご協力いただきありがとうございました。

さて、その年の世相やイメージを表す“今年の漢字”(日本漢字能力検定協会主催)に、“金”が選ばれました。皆様にとって、令和3年はどのような年だったのでしょうか。来年もまた悲喜こもごもの年になるかとは思いますが、少しでも喜びの多い年になるように願うばかりです。

年末年始のご準備にお忙しいとは存じますが、健康にはくれぐれもご留意され、よい年をお迎えください。

新自主グループ1

12月2日に発足しました! 「春日ダンスクラブ」

11月に開催した主催講座「背筋ピン! 健康社交ダンス」(全3回)は、大変好評をいただきました。参加された方の中には、「これからも社交ダンスを続けたい」という声が多く、自主グループ「春日ダンスクラブ」を結成して新たに活動を始めることになりました。指導は、専門の講師の先生がやさしく楽しく、丁寧にしてくださいます。現在、会員は13人で、初心者の方も多くいらっしゃいます。

ダンスの習得はもちろん、ダンスを通して健康維持と会員の親睦を深めることを目指すグループです。音楽に合わせて楽しくステップ! 豊かな時間を一緒に過ごす仲間を募集しています。

体験や見学も大歓迎です。興味のある方は公民館までお問い合わせください。

【活動日時】 毎月第1・第3木曜日 10:00~12:00

【月会費】 1500円



新自主グループ2

1月8日(土)に発足します! 「子どもお絵かきサロン」

この秋に開催した主催講座「子どもお絵かきサロン」(全5回)には、絵を描くことが大好きな子どもたちがたくさん集まってくれました。講師の先生からのちょっとしたヒントやアドバイスをもとに、絵に取り組む子どもたちの姿は真剣そのもので、絵を描くことは子どもの集中力を高めることにも効果があるように感じました。今後、自主グループ「子どもお絵かきサロン」を結成して活動を続けていきます。

休日の午後を、自分の好きなことに没頭して有意義に過ごそうと思うお子様を募集しています。詳しいことは公民館までお問い合わせください。

【活動日時】 毎月第2土曜日 13:30~15:30

【会費】 1回 1000円程度

【持物】 絵具セット・スケッチブック他



自主グループ紹介

今年度から活動しています!

パステルドリーム研究会

代表 服部 敏男さん

パステルと聞くとむつかしく思いがちですが、子供のころより使用しているクレパスを想像してください。パステルシャインアートは「天使展」で発表されたパステルを使ったアートで、パステルの輝き(シャイン)をとおして、人々に夢や希望を届けたいとの思いから名付けられました。

3つのコンセプト(無拘束・無邪気・無判断)を通じて創作活動し、会員相互の親睦を図っています。

活動の日は、毎月第2・第4水曜日の10:00~12:00です。見学・体験等を希望される場合は、事前に公民館に連絡をお願いします。(体験費用1回100円)



開催予定の講座 1

このままでいいの？ 私の人生

女性の Life(ライフ)と Work(ワーク)を考える

【日時】 令和 4 年 1 月 20 日(木) 27 日(木)

全 2 回 10:00~12:00

【対象】 奈良市在住・在勤の概ね 25 歳から 50 歳の女性 10 人

【費用】 無料

【託児】 6 ヶ月～未就園児(要申込・定員あり)

☆申込締切 令和 4 年 1 月 12 日(水)必着
(下記方法で)



開催予定の講座 2

アジアの文化を知る～お正月のお祝い～

韓国 中国 日本

お正月をテーマに文化の違いに触れる

【日時】 令和 4 年 1 月 29 日(土) 10:00~11:30

【対象】 奈良市在住・在勤の成人 20 人

【費用】 無料

☆申込締切 令和 4 年 1 月 20 日(木)必着

(下記方法で)



★申込方法:(公財)奈良市生涯学習財団 HP の申込フォーム、または往復ハガキ(講座名・住所・名前・年齢・電話番号を記入)でお願いします。宛先: 〒630-8141 奈良市南京終町一丁目 86-1 春日公民館 Tel. Fax62-2253

★講座に関する質問等がございましたら、春日公民館までお問い合わせください。

★各事業・講座は感染症の影響、気象警報(開始2時間前発出時)等により中止になる場合があります。

秋・冬開催の講座より

ドキドキ わくわく ハロウィンの日

10 月 31 日(日)、たくさんのお子もたちに来てもらい、公民館は大変賑わいました。“飛鳥おはなしの会”の皆さんの読み聞かせに惹きこまれ、その後のマジシャン“シグマ”さんのマジックショーに大興奮。缶バッジのプレゼントも喜んでもらえました。



市民コラボ企画～ならまちの民話と伝説～

12 月 1 日(水)、冬晴れの午後。5 グループに分かれて京終駅を出発。近鉄奈良駅まで、“なら・観光ボランティアガイドの会 朱雀”と“奈良の民話を語りつぐ会”の皆さんの案内とお話を聞きながら、民話と伝説の地をのんびりと巡りました。



お知らせ

1 年末年始の休館について・・・12 月 27 日(月)～1 月 5 日(水)は休館となります。

2 公民館まつりについて・・・公民館まつり「**かすが公民館 DAY**」を、令和 4 年 2 月 26 日(土)10:00～16:00・27 日(日)9:00～14:00 に開催予定です。自主グループ活動発表(映像放映)・作品展示の他、体験や見学コーナー等を準備しています。皆様のご来館をお待ちしております。詳細は公民館までお問い合わせください。

💎 「大阪で生まれた女」という曲で有名な歌手の BORO さんは、子どもの頃から相次ぐ病気やケガと、人生をかけて闘ってきたといいます。あるインタビューで、「不幸には幸せの扉はいくつもあって、そこを開けるか開けないかで自分の心は変わる。結局、地獄というのは希望への入り口だったんだなということに気づきました」「とりあえず、不幸を受け入れる。自分がどん底にいることを否定しない。まずは、そこからだと思うんです。地獄を受け入れると、幸せ探しができるようになります。雲を見たり、星空を見上げたりするだけで幸せを感じられるようになる」と話しています。ヘレンケラーは、「ひとつの幸せのドアが閉じるとき、もう一つのドアが開く。しかし、よく私たちは閉じたドアばかりに目を奪われ、開いたドアに気づかない」という言葉を残しています。受け入れ難い現実と直面したことがある人、長く辛い状況を乗り越えてきた経験がある人の言葉として説得力があります。

ならしみんだより 9 月号に、自殺予防週間に関する記事があり、自殺は社会全体の問題であると書かれています。カリフォルニア州にある野球場のバックネット下には、シーズンを通して自殺防止啓発運動の広告が出ていました。まず、危機に瀕している人が見せる、痛みを示すサインを知ることが大切だとされています。

「神がドアを閉める時は、どこかの窓を開けてくださっている」。ある映画のセリフを思い出しました。

